職 務 経 歴 書

2025年９月7日現在

氏名　唐 泊文

■職務要約

2023年9月～2025年3月、ECLエージェンシー株式会社に長期インターンをした。

2025年4月～現在、株式会社ゼンリンにてシステムエンジニア業務に従事しました。

地図と海運・物流領域における要件定義から設計、テスト、ユーザートレーニングに至るまで、一連のシステム開発フェーズを経験しています。多国籍チームとの業務推進や顧客との折衝を通じて、調整力および推進力を培ってきました。

また、技術的なスキルにとどまらず、プロジェクトを通じてチームや顧客の課題解決・改善提案にも取り組んでいます。

2020年、国際的な数理建模大会（The Mathematical Contest in Modeling, MCM）に出場し、参加賞をいただきました。

■活かせる経験・知識・技術

・豊富な言語知識(Java、SSMフレームワーク、HTML、CSS、JavaScript、MySQL、C、Python、Git)

・データ分析に関する経験とスキル  
・最適化アルゴリズムおよびAI関連技術への知見

・要件定義～運用までの一貫経験

■職務経歴

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2023年9月～2025年3月　ECLエージェンシー株式会社（数十名規模） 長期インターン | | |
| 事業内容：業務効率化システム開発  資本金：非公開  従業員数：非公開（数十名規模）　上場：未上場 | | 長期インターン |
| 2023年9月  ～  2025年3月 | 中古車の輸出貿易会社／社内業務自動化システム開発  【プロジェクト概要】 　本プロジェクトは、社内の定型業務（メール自動送信、ファイル処理・自動アップロード等）を自動化することで、業務効率化と人的ミスの削減を目指したものです。各部門の業務フローを分析し、最適な自動化ツール・スクリプトを開発・導入することで、作業時間の短縮および業務品質の向上を実現しました。  【担当業務】 ・要件定義（社員の要求整理・機能/非機能要件・業務準備計画） ・設計、テスト（作成物のレビュー、社員への説明・承認） ・社内関係者とのコミュニケーション計画作成・実行主体 |  |
| 【実績・取り組み】 　社内の自動化スクリプト開発において、メール自動送信やファイル自動アップロードなどの重要業務の要件分析と最小限設計を主導し、システムの効率性と保守性を両立させました。 プロセスの最適化とリソースの適切な配分により、コストと品質のバランスを実現しました。 プロジェクトは計画通り高品質で進行し、業務全体の効率化や人的ミスの削減に大きく貢献しました。 これらの成果は同僚や管理層から高く評価され、会社に実際の業務価値と名誉をもたらしました |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2025年4月～現在　株式会社ゼンリン（2000人規模） 正社員 | | |
| 事業内容：地図システム開発エンジニア  資本金：  従業員数：　上場： | | 正社員 |
| 2025年4月～現在 | 地図情報サービス会社／地図関連システムの開発  【プロジェクト概要】 　社内システムの開発支援を通じて、業務効率化や品質向上を目指したものです。要件整理、設計・テスト、運用サポートなど各工程において、技術的な支援や課題解決を行い、円滑なシステム導入・運用を実現しました。  【担当業務】 ・要件整理や仕様調整の支援 ・設計・開発工程での技術的サポート ・テスト計画・実施の支援 ・運用・保守に関するサポート ・社内関係者とのコミュニケーション・調整 |  |
| 【実績・取り組み】 　システム開発支援の業務に従事する中で、主に要件整理、簡単な技術サポート、日常的な運用業務に携わりました。 チームの一員として、基本的なシステムテストや問題対応を通じて、業務理解と技術力の向上に努めています。 現在は基礎的な業務が中心ですが、積極的に知識習得に取り組み、プロジェクトの円滑な進行に貢献しています。 |  |

■資格

|  |  |
| --- | --- |
| TOEIC Listening & Reading 715点 | 2021年9月取得 |
| 日本語能力試験 JLPT N2 158点 | 2022年7月取得 |

■その他活動（Off-JT・社内外活動）

＜最新技術への継続的な学習と研究指導経験＞

最新技術の動向に常にアンテナを張り、積極的に自己学習を続けています。修士研究計画の指導経験を通じて、研究の進め方や課題解決力を身につけ、後輩や学生へのアドバイスを通じてコミュニケーション能力も向上しました。

＜多国籍交流会の企画・運営による多文化適応力＞

定期的に各国の交流会を企画・運営し、異なる文化や価値観を持つ人々との交流を深めています。参加者のニーズに合わせたプログラム作成や円滑なコミュニケーションの工夫を重ねることで、多文化環境への適応力と調整力を培いました。

＜情報学大学院受験戦略コンサルティングと個別指導＞

情報学大学院の受験戦略コンサルティングを担当し、学生一人ひとりの目標や課題に合わせた個別プランの策定を行いました。数学や専門科目の筆記試験対策だけでなく、学習意欲の向上やメンタル面のサポートにも力を入れ、合格率の向上に貢献しました。

■自己PR

＜複数ステークホルダーを巻き込んだPJ推進力＞  
　国内外の複数ステークホルダーの利害を理解し、円滑に且つスピーディーにプロジェクトを推進していくことを強みとしております。現在推進しているプロジェクトはアジア各国から参画する複数の国のメンバーが関与しており、かつクライアントも複数部署が絡み合う大規模なものとなっております。その中で、文化や組織の商習慣、パワーバランスを理解し、適切な言葉遣いやコミュニケーションルート、課題解決の優先順位付けを意識して、要件定義・調整や課題の整理を行ってきました。その結果、クライアント部長・執行役員からも高い評価を頂き、継続的なプロジェクト参画へとつながっております。

今後は、自分の観察力や実行力だけでなく、プロジェクトメンバー一人ひとりの強みも最大限引き出し、チームとしてのシナジーを生み出すことで、顧客の真の課題解決と最終的なサービス価値の向上に貢献していきます。

＜顧客対応・後輩育成・グローバル調整を並行しながら、高品質な成果を継続＞新卒入社後、初期配属のプロジェクトながら、管理会計チームのサブリードとして、多岐にわたる業務を遂行しました。常に顧客対応・グローバルとの調整・後輩育成といった複数の業務を並行しながらも、質の高いアウトプットを維持したことで評価をいただきました。2024年には約600人が所属する部門において、困難なプロジェクトで高いパフォーマンスを発揮したことが評価され、殊勲賞を受賞しました。

私は【ｘｘｘ領域の専門性】×【相手の立場で考え、巻き込むコミュニケーション力】という掛け算で価値を発揮できると考えています。単なる知識提供にとどまらず、「一緒に改善していく推進力」を持ちながら、クライアントや消費者目線の提案ができることが私ならではの強みです。この掛け算を活かし、専門的な知見と柔軟なコミュニケーションで、クライアントと生活者双方の価値向上を実現するコンサルタントを目指していきます。

以上